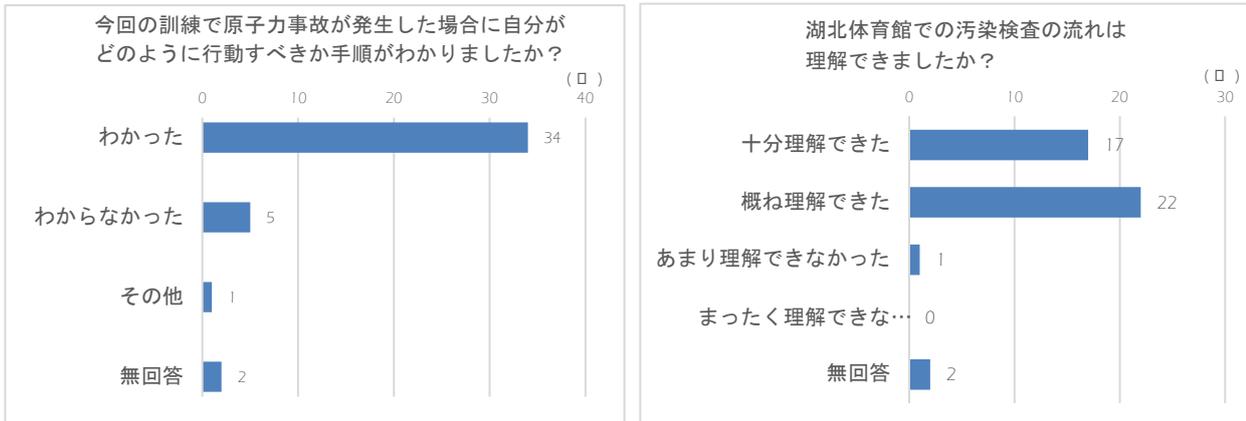


7 住民アンケート結果

参加住民に対し、今回の原子力防災訓練について、アンケートを実施した。概ね、原子力災害時の行動手順や汚染検査の流れについて理解が得られたと考えられる。



8 主な成果と課題

(1) 成果

- ・ 住民参加の中で、屋内退避、一時移転、スクリーニング（避難退域時検査）・簡易除染および原子力災害医療に係る手順の確認をすることができた。また、参加住民にも避難時の手順について理解いただけた。
- ・ 避難車両が多くなると、避難中継所（湖北体育館）前に車両が滞留してしまうという課題から、今年度は、避難中継所に進入する前に、近く場所にバス溜まりを設け、避難中継所と連携し、バスを誘導した。これにより避難中継所前のバスの滞留を避けることができた。
- ・ ゲート型モニタの時定数を15秒に設定し、幅を80cm程度にする運用に今回変更したが、一人当たりおおよそ30秒程度で測定することができた。
- ・ 登山客等へのヘリコプター広報の有用性を確認することができた。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の自宅療養者へのスクリーニング（避難退域時検査）方法を検証することができた。

(2) 課題

- ・ 一時集合場所（木之本小学校）の周辺道路が狭いことから、バスについては小型バスを使用し住民搬送が必要となった。
 - 一時集合場所の周辺道路の状況も勘案し、一時集合場所の追加・変更、避難手段やバス発着場所を検討する必要がある。
- ・ 各班の役割は伝わっていたものの、防護服の着脱場所やスクリーニング（避難退域時検査）記録表の記載台の場所、汚染検査前エリアと汚染検査後のエリアの別など会場全体のレイアウトの認識が全体的に不十分であり、混乱を招く場面があった。
 - 災害時には事前に、レイアウトなどを周知することは難しいことから避難中継所開設時に全体のレイアウト等について共有を図る。
- ・ スクリーニング（避難退域時検査）待機場所やその前において傷病者が発生した場合の対応について、どのように対応するか詳細には決めておらず混乱が発生した。また、傷病者用に車いすや担架なども必要と考えられる。
 - スクリーニング（避難退域時検査）待機場所でのトリアージが必要との声もあったことから、スクリーニング（避難退域時検査）待機場所やその前において傷病者が発生した場合の対応方法について検討する。

- ・ 避難中継所とバス待機場所とのトランシーバーが不安定であり、聞こえない等の事態が発生した。
- ・ トランシーバーを1チャンネルにしているため、各班での共有したいことと本部に共有したいことが混線し、班内のコミュニケーションがうまくいかなかった事例が見られた。
 - ▶ トランシーバーと携帯電話を併用するなど通信手段について検討する。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の自宅療養者対応など新たな訓練項目については、どの班が対応するのかなど混乱が見られた。新型コロナウイルス感染症患者のスクリーニング（避難退域時検査）時に、防護服の着脱やGMサーベイメータの消毒等に時間を要した。
 - ▶ 今回の訓練結果を踏まえ、新型コロナウイルス感染症患者用の測定器を準備する、アイソレーションガウンを二重にするなど対応方法の改善を検討する。
- ・ 車両検査・除染班においては、検査と除染班を兼ねていたため、検査と除染を同時に実施することが困難と考えられる。
 - ▶ 車両検査・除染班内の役割を明確にできていなかったため、避難中継所運営要領に班長（1人）、車両誘導（2人）、ゲートモニタ読み取り（1人）、詳細検査（2人）、記録（1～2人）、簡易除染（2人）などの役割と必要人数例を記載する。
- ・ 今回初めて訓練に参加する要員も含まれ、会場の設営・運営方法を確認するための時間を要する場面などが見られたことから、今後も関係機関と連携し訓練を積み重ね、避難計画の実効性の維持・向上を図ることが重要。

令和3年度岐阜県原子力防災訓練

岐阜県原子力防災室

1 日 時 令和3年11月28日(日) 8:00~12:00

〔 避難退域時検査訓練・簡易除染訓練 11月20日(土) 8:30~12:00
原子力災害医療訓練 11月24日(水) 13:00~16:00 〕

2 参加機関(※参加者:約370名)

警察本部、揖斐川町、美濃市、岐阜市、本巣市、垂井町、内閣府、原子力規制庁、陸上自衛隊第35普通科連隊、揖斐郡消防組合消防本部、揖斐郡医師会、揖斐郡薬剤師会、岐阜県診療放射線技師会、岐阜大学医学部附属病院、関西電力(株)等

3 訓練想定

関西電力(株)美浜発電所3号機で地震に起因する事故が発生し、放射性物質が漏えい。漏えいした放射性物質が揖斐川ルートで揖斐川町に流入し、同町坂内地域において原子力災害対策指針で定める一時移転基準(20 μ Sv/h)を超過。

4 今回訓練のポイント

(1) **新規** 揖斐川町住民による美濃市への広域避難訓練の実施

新型コロナウイルス感染症流行下での避難行動中の感染拡大・予防対策を踏まえつつ、バスによる住民の広域避難、避難経路所の開設・運営訓練を初めて実施。

(2) **拡充** 避難退域時検査・簡易除染訓練の実施規模の拡大

関西電力と連携し、避難退域時検査を他の訓練と切り離して別日で実施。人員を増員し、関係者間で手順を丁寧に確認。

5 訓練内容

(1) 災害対策本部運営訓練

①本部員会議運営訓練

日 時: 11月28日(日) 11:30~12:00

場 所: 県庁4階特別会議室

- ・揖斐川町災害対策本部において、UPZを含む坂内地域住民の一時移転に向けた計画を検討
- ・国からの一時移転指示を受けて開催する本部員会議において、町の検討結果をTV会議システムで報告し、その状況を踏まえ一時移転の実施方針を決定

②情報収集伝達訓練

日 時: 11月28日(日) 8:30~11:30

場 所: 県庁4階災害情報集約センター

- ・県庁の災害情報集約センターにおいて、国のオフサイトセンターや原子力事業者から送られてくる情報を整理し、関係機関へ伝達

(2) 現地実動訓練

① 屋内退避及び放射線防護施設の設備操作・維持訓練

日 時：11月28日（日）8：00～8：30

場 所：揖斐川町川上集会場

- ・揖斐川町坂内川上地区住民による屋内退避（自宅退避、放射線防護施設への退避）
- ・放射性物質が建物内へ流入することを防ぐ陽圧化装置の緊急時起動手順の確認
- ・陽圧化装置起動に伴う施設内の維持管理方法の確認
- ・住民への屋内退避施設内での防護措置方法の啓発

② 緊急時モニタリング訓練

日 時：11月28日（日）8：30～12：00

場 所：県下全域、県庁6階環境管理課、県保健環境研究所（各務原市）

- ・県下全域での固定型モニタリングポストによる空間線量率の測定
- ・県が設定したモニタリングルート上の測定地点を職員が巡回し、空間放射線量率を測定
- ・揖斐川町内における環境試料（飲料水・土壌）の採取。県保健環境研究所における放射性物質の測定・分析

③ 屋内退避広報訓練

日 時：11月28日（日）8：30～11：00

場 所：【屋内退避実施広報】揖斐川町全域

【図上訓練】岐阜市、本巣市、垂井町

- ・揖斐川町全域における、様々な手段（防災行政無線、個別受信機、広報車、エリアメール、ケーブルテレビ、町ホームページ）を用いた屋内退避実施の広報
- ・原子力災害対策強化地域内の希望する市町と連携した、屋内退避広報の図上訓練

④ 安定ヨウ素剤模擬服用訓練

日 時：11月28日（日）8：00～11：00

場 所：【ヨウ素剤調合】揖斐総合庁舎（西濃保健所揖斐センター）

【ヨウ素剤配布】揖斐川町川上集会場

- ・坂内川上地域住民分の安定ヨウ素剤の模擬調合
- ・医師による服用対象者への模擬問診、安定ヨウ素剤に見立てた飴の配布

⑤ 広域避難訓練 新規

日 時：11月28日（日）8：30～11：00

場 所：【出発地】揖斐川町川上集会場

【避難経由所・避難所】森林文化アカデミー（美濃市） ※ルートは別紙

- ・バスによる揖斐川町坂内川上地区住民の美濃市への広域避難、車内における原子力防災に係る普及啓発（放射線や原子力防災等に関するビデオ上映）
- ・県警による避難ルート上での車両誘導、通行規制
- ・避難経由所の開設・運営（避難住民の受付、避難所への誘導等）
- ・避難所の開設・運営（避難住民の受付、世帯ごとのパーティション間仕切り等）